

平成30年度 堺市立図書館 サービス評価

堺市立図書館

第三者評価：堺市立図書館協議会

令和元年8月

第三者評価凡例

A:非常に評価できる

B:評価できる

C:あまり評価できない

D:全く評価できない

A:100 B:66 C:33 D:0

として数値化

目次

I	各サービス方針にかかる評価	2
1.	地域の知の拠点として、市民の暮らしに役立つ資料・情報を提供します。	2
2.	市民の生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。	4
3.	快適な利用空間の提供につとめます。	6
4.	地域の情報を収集・保存・提供し「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。	8
5.	子どもの読書環境の充実につとめます。	10
II	平成30年度 各図書館の取組状況	13
	Webでの貸出等	13
堺区	中央図書館・堺市駅前分館	14
中区	中図書館・東百舌鳥分館	16
東区	東図書館・初芝分館	18
西区	西図書館	20
南区	南図書館・梅分館・美木多分館	22
北区	北図書館	24
美原区	美原図書館	26
III	平成30年度の総評	28
IV	基本的な図書館活動指標	30

I 各サービス方針にかかる評価

1. 地域の知の拠点として、市民のくらしに役立つ資料・情報を提供します。

市民の多様化・高度化するニーズに対応し、地域の課題解決に必要な資料・情報を提供します。また、レファレンス（調査相談）機能を強化するとともに、ICT を積極的に活用し、情報へのアクセスポイントとしての機能の充実に努めます。

定量的指標・政令市比較	堺市			H30政令市平均		順位
	H29	H30				
蔵書数	1,891,973	1,894,075	点	2,408,593	点	17位
市民千人あたり	2,274	2,285	点	1,903	点	6位
年間個人貸出点数	4,276,016	4,240,402	点	5,848,992	点	13位
市民千人あたり	5,140	5,115	点	4,325	点	6位
相互貸借借受数	5,787	6,180	点	5,804	点	10位
市民千人あたり	7	7	点	4	点	3位
資料費（決算ベース）	97,319	98,191	千円	136,326	千円	14位
市民一人あたり	117	118	円	103	円	5位

政令指定都市立図書館長会議資料より

具体的取組	指標		H29	H30	単位	目標値	評価
ICTを活用した 情報の提供	「本の紹介・ブックリスト」ページ閲覧回数		135,011	185,960	回	127,400	◎
	新着図書お知らせメール送信点数		236,638	244,810	点	230,000	◎
司書の専門性	職員研修参加延人数（館外研修含む）		215	163	人	150	◎
	司書資格保有率（正規職員）		83	88%	%	90%	○
広報活動	ゆづりは等の広報物発行回数		69	74	回	50	◎
	広報誌掲載件数、報道提供、新聞への掲載件数	広報さかい	56	60	件	-	-
		区広報	85	84	件	-	-
		報道提供・資料提供	4	4	件	-	-
		新聞への掲載件数	4	1	件	-	-
		合計	149	149	件	150	-
	チラシ等発行枚数		59,747	63,246	枚	59,700	◎
利用者満足度	来館者調査「全体の満足度」	4.0	3.95	-	4.0	○	

◎：達成度 100%以上 ○：達成度 80%以上～100%未満 △：達成度 50%以上～80%未満 ×：達成度 50%未満

平成30年度の取組について

- 中央図書館基本構想（図書館サービス機能）について、職員を含む図書館関係者及び各種団体、学識経験者にヒアリングを行い、広く意見を募りました。今後、いただいた意見を反映させた案をもとにパブリックコメントを実施し、策定に向けて取り組んでまいります。
- 国立国会図書館が実施しているレファレンス協同データベース事業（※1）において、堺市立図書館が登録したレファレンス事例の年間登録点数が 200 点を超えたことが評価され、国立国会図書館館長から御礼状をいただきました。これからもレファレンスサービスを通じて、資料・情報の提供に努めてまいります。

I 各サービス方針にかかる評価

- 国立国会図書館総合目録ネットワーク(「ゆにかねっと」)にデータ提供館として参加しました。国立国会図書館サーチを通じて、他自治体も堺市所蔵の資料を利用できるようになることで、市内外の課題解決に取り組めます。

(※1) レファレンス協同データベースは、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べ物のためのデータベースです。

図書館協議会委員の意見と評価

- 市民一人当たりの、貸出点数、相互貸借件数、資料など政令指定都市の中では、上位を占めている。
- 堺市は千人あたりの蔵書数が多いが、子どもの本などは修理はされているものの、ボロボロになっている本もある。それだけ利用が多かったと喜ぶべきだが、手に取って読んでみようと思えない。冊数は変わらないが、そういった本の買い替えは必要。
- 蔵書数が(一人当たりとしては上位にあるにしても)全件数としては政令市では低位にあり、増加が望まれる。
- 資料費があつてこそ、一定水準以上の図書館サービスを住民に提供することができる。この点について、「基本的な図書館活動指標」では、前年度と比較すると上回っている。また、国立国会図書館館長からお礼状が届くなど、レファレンスサービスを通じて資料・情報の提供を行っている点も評価する。
- 歴史の街にふさわしい貴重な本が多く蔵書されている。それも含めて蔵書として多いと思うが、新しい本が全体として少ないことも否めない。「魅力ある棚を見る楽しさ」という声があまり聞かれないのが残念。
- ICT を活用したサービスの取組が課題だが、必ずしも進捗しているとはいえない。
- ICT についてなど、新しい情報に関する資料の充実、また、インターネットではわからない情報の提供をしていく必要がある。
- ICT 利用が広まって利用が多くなっている一方、その利用ができない高齢者などの情報弱者に対してどう対処するかも課題。
- ICT による情報提供は目標を上回っており、図書館利用者への提供は良好だが、非利用者にも届くような情報提供が(市区広報以外には)少ないと感じられる。
- レファレンスや課題解決に必要な資料・情報を提供していることは、司書の能力とともに、利用者として実感できる。
- レファレンス業務については、堺市の場合その専門性を生かし非常にレベルの高いものであると実感しています。正規職員でない方についても、そうした専門性をいっそう高めてほしいと願います。
- 国会図書館のレファレンス協同データベース事業における登録件数に関して同図書館から礼状を受けたことは評価できる。
- レファレンスでは、国立国会図書館に評価されたことはうれしい。
- レファレンス協同データベース事業において、国立国会図書館長からお礼状が届いたことは喜ばしい。
- レファレンスの質をはかる評価項目の設定ができないか。
- 期間限定でも、図書館に来ればこのような資料もみられるということがわかる、特色のある資料を見せていくような取組もしてはどうか。
- 他の市、話題になっているところの情報や工夫も見て、よいものは取り入れるとよい。
- 満足度を上げることは大切。館別の満足度が必要ではないか。

委員評価 A:6名 B:3名 C:0名 D:0名 評価点 88.7 点(100 点満点)

I 各サービス方針にかかる評価

2. 市民の生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します。

市民の自主的・自発的な学習活動を支援し、講習会等、さまざまな学習機会の充実に努めます。また、市民との協働により、学びを通じた市民の交流を推進します。

定量的指標・政令市比較	堺市			H30政令市平均		順位
	H29	H30				
団体貸出点数	71,678	72,864	点	84,215	点	9位
市民千人あたり	86	88	点	63	点	5位
レファレンス受付件数	83,727	76,278	件	95,708	件	11位
市民千人あたり	100.7	92.0	件	66	件	6位

政令指定都市立図書館長会議資料より

具体的取組	指標		H29	H30	単位	目標値	評価
市民の生涯学習 の場の提供	ブックフェア開催回数		354	397	回	360	◎
	読書会等への団体貸出点数		1,775	2,239	点	2,000	◎
	家庭・地域文庫、公共施設、のびのびルーム等への団体貸出点数		23,143	25,109	点	26,000	○
	市民との協働事業実施回数・延べ参加人数（堺図書館サポーター倶楽部、堺メモリー倶楽部、堺図書館ビブリオバトル倶楽部）	堺図書館サポーター倶楽部	960	861	回	目標値を設定しない	-
			3,117	2,681	人		-
		堺メモリー倶楽部	25	25	回		-
			163	135	人		-
		堺図書館ビブリオバトル倶楽部	5	4	回		-
			15	21	人		-
	市民主催事業参加者数（子ども夢基金助成事業による講演会等、市民が企画・運営した事業を指す。図書館は広報等に協力）		585	1,157	人	目標値を設定しない	-
	子どもの読書に関わる「ボランティア養成講座」参加延人数		259	195	人	200	○
	「ボランティアステップアップ講座」平均参加率（参加者／定員）		82	64	%	80	△
多様な学習活動支援	図書館主催講演会等開催回数・延参加人数		68	35	回	80	×
	（地域資料記念講演会、堺歴史文化市民講座、課題解決支援講座、市民参加型イベント等）		921	1,985	人	1,300	◎

◎：達成度 100%以上 ○：達成度 80%以上～100%未満 △：達成度 50%以上～80%未満 ×：達成度 50%未満

I 各サービス方針にかかる評価

平成30年度の取組について
● 中央図書館で郷土資料展「堺の鉄道 130 年」を実施し、当時堺に鉄道が通ったころの新聞や絵図、戦前のパンフレットなどを展示し、貴重な路線図を初めて市民に公開しました。また、関連イベント「時刻表を読んで、自分だけの旅行計画を作ろう！」を実施しました。こちらは小学生から 70 代まで幅広い年齢の方が交流し、一緒に作業に取り組みました。 ● 医療関係についての課題解決支援講座や障害者理解促進講座など、市民の関心が高い課題について理解を深めてもらうため、他機関と連携して各区で市民参加型講座を実施しました。併せてパネルや資料の展示を行い、図書館の利用促進を図りました。
図書館協議会委員の意見と評価
● 市民の自主的、自発的な学習を担保する環境の整備や実効ある具体的な支援に関しては、かならずしも効果を挙げているとはいえない。医療情報の提供以外の課題解決型サービスや ICT 関連の市民向け講座の充実が望まれる。 ● 生涯学習と言いながら、子ども読書関係の取り組みが比較的多い。一般成人向きの企画が必要ではないか。多様な学習活動支援に向けて、もっと企画と工夫が必要ではないか。 ● さまざまな取り組みをされていることに敬意を表します。他市のようななどの施設でも開催できるようなものではなく、公立図書館にふさわしい催しについて深めていただきたく思います。生涯学習施設等とのタイアップ事業についてもこれからは精査が必要と思われます。 ● 市民の生涯学習の場の提供と協働では、学習活動も多様で活発な様子でよかったが、養成講座の参加者は多かったが、ステップアップ講座が思ったより少なかった理由が知りたい。 ● 市民の生涯学習の場の提供として、色々な取り組みをされていることについて評価します。しかし、今後活動展開が期待されるボランティア養成講座やステップアップ講座への参加者が減少している理由が知りたい。 ● 支援活動の数の多さに一驚。ただし、回数に比して参加人数が少ないのはどうしてか（特に図書館主催講演会）。地域ごとに分散して行われるためか、参加者の関心が分散しているためか。状況分析の必要。 ● 多様な学習活動支援は、内容等がはっきりわからず、何とも言えないが、予想より大幅に下回ったのは、なぜか知りたい。 ● 小学生から 70 年代までの幅広い世代と交流できる場を図書館が提供をしている点を評価する。 ● 参加者の自由に話し合える場の確保 ● 図書館は教育の基盤として大事。学生にも社会人にも役立つような、なにげなく来られる図書館になるとよい。
委員評価 A:3名 B:6名 C:0名 D:0名 評価点 77.3 点(100 点満点)

I 各サービス方針にかかる評価

3. 快適な利用空間の提供につとめます。

市民が安全で安心して利用できるよう、親しみやすく快適な読書環境の充実に努めます。また、高齢者や図書館利用に障害のある方が、安心して利用できる場の提供に努めます。

定量的指標・政令市比較	堺市			H30政令市平均		順位
	H29	H30				
図書館延床面積	18,572	18,572	m ²	26,095	m ²	14位
市民千人あたり	22	22	m ²	20	m ²	6位
中央図書館延床面積	4,635	4,635	m ²	9,440	m ²	15位
市民千人あたり	5.57	5.59	m ²	6	m ²	14位
開館日数（中央館）	305	308	日	308	日	8位

政令指定都市立図書館長会議資料より

具体的取組	指標	H29	H30	単位	目標値	評価
快適な利用 空間の提供	来館者アンケート調査 「館内の過ごしやすさについて」	-	3.89	-	4	○

◎：達成度 100%以上 ○：達成度 80%以上～100%未満 △：達成度 50%以上～80%未満 ×：達成度 50%未満

I 各サービス方針にかかる評価

平成30年度の取組について
● 中央図書館敷地内を全面禁煙としました。今後も受動喫煙による市民の皆様や職員の健康への影響を防止するため、「健康都市・堺」の実現に向けて取り組んでまいります。 ● 西図書館「セカンドステージ応援コーナー」の拡充や、南図書館「手話コーナー」の新設など、高齢者や図書館利用に障害のある方にも興味を持って利用いただける資料を展示したコーナーを整備いたしました。また、美原図書館では、ティーンズエリア内の分かりやすい書架レイアウトなど環境づくりに取り組みました。 ● 市民からの要望を受けて、中央図書館の入館時間を早めました。ロビー展示などを閲覧いただく機会となる副次的効果もありました。

図書館協議会委員の意見と評価
● 先進図書館における、施設空間の質に比して老朽化、陳腐化が目立つ。特に中央図書館の建築的課題はサービスの面からも無視できない段階にある。 ● 特に中央図書館は、現状改善には限界があることは明らか。現状の中では、1階ロビーの改装、カウンターへ向かう階段の直線化、カウンターに本を待つ間、腰かけるようなゆとりを。 ● 玄関前の広い空間を季節によっては有効利用(読書や飲食空間として)可能なのでは。 ● 中央図書館が入館時間を早めたことは利用者にとってありがたい試みだと思います。その一方でバリアフリー度が低く、高齢者や障がいを持たれた方にとっては快適な空間だとは言えないと思う。 ● 平成30年度の取組について、中央図書館の入館時間を早めたことは、利用者にとってやさしいことだと、感謝している。 ● 中央図書館の敷地を全面禁煙にしたので、外にベンチを置いてほしい。 ● 中央館は建物等の制約があり、バリアフリー度も低く、とても快適とは言えない。 ● 堅牢な建物に「あとづけ」となったバリアフリーのための施設が必ずしも最適なもののか、場所も使いづらいところにあるのではないのかなど、早期の見直しでより快適化を図っていただきますようお願いをします。 ● 各図書館の試みは、なかなかいいと思う。 ● コーナーの新設と館内での過ごしやすさは直結するのか疑問。 ● 快適空間で長く過ごすことが、図書館利用者にとってとても大切。各図書館によって、評価の差が大きいと思うが、どの部分がどうか、など分析してほしい。 ● 各館ごとの数字が必要ではないか。 ● 前年度は全く数値データがなかったが、今年度は来館者アンケート調査が実施されている点は評価したい。 ● アンケートについて、誰に対して調査を行ったのか、また実施状況「3.89」という数値であるが、この数値は利用者の満足度ではなく、アンケート実施状況の数値なのか。これだけの内容では評価が難しいのもっと情報が欲しい。 ● 交通の利便性は利用のきっかけにもなる。不便なところだと、図書館利用の目的を持った人しか来ない。すぐには無理でも将来に向けて考えていく必要がある。移動図書館の活用も考えられる。
委員評価 A:0名 B:6名 C:2名 D:1名 評価点 51.3 点(100 点満点)

I 各サービス方針にかかる評価

4. 地域の情報を収集・保存・提供し「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します。

堺の地域資料の収集・保存および電子化に取り組むことで、「歴史文化のまち堺」の情報の発信に努め、次世代への継承に貢献します。また、地域資料を活用した文化活動の支援に努めます。

具体的取組	指標	H29	H30	単位	目標値	評価
堺の歴史文化に関する資料や市政情報を収集・保存・提供	図書館作成デジタル地域資料閲覧回数	1,463	2,098	回	3,000	△
	地域資料のページ全体の閲覧回数	443,375	512,503	回	405,000	◎
	マイクロフィルム化・デジタル化したコンテンツ数	2,177	2,192	点	3,000	△
	郷土資料展記念講演会参加者満足度「とてもよかった」「よかった」の割合	97	67	%	80	○
	「堺歴史文化市民講座」参加者満足度(平均)「とてもよかった」「よかった」の割合	95	87	%	80	◎

◎：達成度 100%以上 ○：達成度 80%以上～100%未満 △：達成度 50%以上～80%未満 ×：達成度 50%未満

I 各サービス方針にかかる評価

平成30年度の取組について

- 中央図書館で郷土資料展「堺の鉄道 130 年」を実施しました。当時堺に鉄道が通ったころの新聞や絵図、戦前のパンフレットなどを展示し、貴重な路線図を初めて市民に公開しました。また、関連イベント「時刻表を読んで、自分だけの旅行計画を作ろう！」を実施しました。こちらは小学生から 70 代まで幅広い年齢の方が交流し、一緒に作業に取り組みました。(再掲)
- 北区独自の歴史文化をテーマとした「堺歴史文化市民講座」を 12 月に開催し、金岡神社宮司の金岡光世氏を講師に、金岡神社の盆踊りや金岡の地名の由来、明治・大正のころの金岡村の様子などについて語っていただきました。また、金岡町に古くから在住の吉田久氏にもゲスト参加していただき、昭和 10～20 年代の地域の様子についてお話いただくなど趣向を凝らし、参加者から「金岡の地に愛着のわく良い内容でした」など好評を得ました。
- 美原区内にある大阪府立農芸高等学校が創立100周年を迎えたことをきっかけに、農芸学校の歴史と美原区との関わりについてお話いただきました。併せて関連展示を美原図書館で行い、講座参加者や農芸学校関係者が来館するなど、図書館の広報にもつながりました。

図書館協議会委員の意見と評価

- 地域資料の収集や保存、その活用等については一定の実績があり、堺にふさわしいものとして確立されていると思います。ただ、利用者参加者に依然として偏りのようなものもあるのではないかと感じます。今後はより多くの人へ周知するための工夫も必要かと思われます。
- 発信力が弱い。
- デジタル資料をもっと見てもらうための工夫が必要ではないか。
- デジタル地域資料、郷土資料展記念講演会など、もう少し広報に力をいれて、まだあまり参加していない人も、興味をもって参加できるよう促すことが大切だと思う。
- 地域資料のページ全体の閲覧回数は多いが、デジタル資料閲覧の少ないのはどうしてか。デジタル資料の内容の再検討が必要なのでは。
- デジタル地域資料閲覧回数が目標値の 3000 を下回っているとはいえ、昨年度より回数が伸びていることは評価できる。すべての取組について、広報の方法を工夫し発信していただくことを希望します。
- これから堺の歴史文化に、市民だけでなく市外からも注目されることとなるので、色々な試みをしてほしい。
- 従来から地域情報の収集・提供には力を入れており、市民講座もそれなりに好評を得ている。
- 堺歴史文化市民講座の参加者の満足度が高いことや他市の公共図書館と比較すると歴史・文化の情報発信に力を入れている点などを高く評価する。
- マイクロ、デジタルコンテンツは自由に閲覧可能か。
- 堺市史史料稿本のような貴重資料が現在原本閲覧になっているが、複本を作成して開架したほうがよいのでは。

委員評価 A:4名 B:5名 C:0名 D:0名 評価点 81.1 点(100 点満点)

I 各サービス方針にかかる評価

5. 子どもの読書環境の充実につとめます。

乳幼児期から青少年期まで読書に親しめる事業や保護者への啓発活動を推進します。子どもの読書活動を計画的に推進するため、地域のボランティアや学校・幼稚園・保育所等との連携の強化を図り、子どもの読書環境の醸成に取り組みます。

定量的指標・政令市比較	堺市			H30政令市平均		順位
	H29	H30				
児童書蔵書数	532,006	524,307	点	617,609	点	12位
市民千人あたり	640	632	点	524	点	6位
児童書個人貸出点数	1,663,112	1,647,370	点	1,479	点	9位
市民千人あたり	1,999	1,987	点	1,479	点	3位

政令指定都市立図書館長会議資料より

具体的取組	指標	H29	H30	単位	目標値	評価
区域の 読書活動推進	子どもを対象とした図書館主催事業実施回数・（おはなし大会、子ども司書講座、児童を対象とした各種講座・堺市図書館まつり等の事業）※おはなし会等定例行事は「基本的な図書館活動指標」に記載	86	106	回	100	◎
	延べ参加人数	4,308	5,550	人	4,700	◎
	子どもの読書に関わる「ボランティア養成講座」参加人数（再掲）	259	195	人	200	○
	「ボランティアステップアップ講座」平均参加率（講座定員に対する参加率・再掲）	82	64	%	80	△
市民の 主催事業の 支援	市民主催事業参加者数（子ども夢基金助成事業による講演会等、市民が企画・運営した事業を指す。図書館は広報等に協力・再掲）	585	1,157	人	目標値を設定しない	-
乳幼児とその保 護者への 啓発活動	「保護者向け講座」平均参加率	68	60	%	80	△

◎：達成度 100%以上 ○：達成度 80%以上～100%未満 △：達成度 50%以上～80%未満 ×：達成度 50%未満

I 各サービス方針にかかる評価

平成30年度の取組について
● すべての子どもの発達段階に応じた体系的な取組を一層推進するため、「堺市子ども読書活動推進計画」を改定しました。今後はこの計画のもと、家庭、地域、市立図書館、学校等の連携と協働によって読書環境を整え、子どもの自主的な読書活動を啓発、支援する体系的な取組を進めてまいります。 ● ふるさと納税を活用した親子読書推進活動「親子で読書」を実施しました。全国から寄せられた指定寄附金をもとに年齢別の絵本パックを購入し、市内各地域で活動している子育てグループ等へ貸出しました。引き続き、ふるさと納税を活用した児童サービスの拡充を実施してまいります。

図書館協議会委員の意見と評価
● 児童書の市民一人当たり貸出点数、政令指定都市3位は、評価できる。 ● 「堺市子ども読書活動推進計画」の改定は評価できる。 ● 図書館は子どもから大人まで必要な施設。子どもに向けたサービスも将来への引継ぎとして大事なことである。 ● 子育て支援センター、保健所、幼稚園、学校と連携をとりながら図書館でこそ可能な独自性を発揮していただければと思う。 ● 児童書の貸出は多いが、子どもの登録率の低さが気になる。 ● 参加者も多く、最も熱心に取り組まれている分野と感じられる。 ● 子ども読書が活発化しているという実感が無い。 ● YA層に対する取り組みが弱い。 ● 「おはなし会」などが大変にぎわっており、子どもは本好きであることを実感します。では、そうした子どもに、保護者がよみかせなどを家でしているのかという実態は不明です。大人向けの啓発や、親子がいっしょに参加するような催しもあればと思います。また、各図書館とも、子どものコーナーの場所が奥だったり(南)、別棟であったり(中央)、わかりづらく、親子一緒では入りづらいことはないのでしょうか。少なくとも、南には玄関を入った瞬間の「ワクワク感」はありませんし、通路に面した子どもコーナーのガラス窓にも装飾がなくさびしい感じがしてなりません。また、別棟ゆえ、府条例との兼ねあいもあるのですが、中央のこども室の閉まる時刻の早いのも気になるようです。 ● 図書館とボランティアは、とても頑張っていると思う。ただ、「保護者向け講座」の参加率が思ったより少ないのは、保護者が忙しい環境になったためか、どうしてか知りたい。 ● ボランティアステップアップ講座の参加者が、少し少ないのも理由を知りたい。 ● 司書の意識も高く、子どもの読書環境の充実・醸成に取り組んでいる。しかしながら、毎年「保護者向け講座」平均参加率が目標値と比較し低いと感じる。目標値に届くように内容を再構築するべきではないか。 ● ふるさと納税を活用した親子読書推進活動の実施、そして今後尚一層の広がりを期待します。
委員評価 A:5名 B:4名 C:0名 D:0名 評価点 84.9点(100点満点)

Ⅱ 平成30年度 各図書館の取組状況

各区ではそれぞれ地域の実情に応じた取組を行っています。次ページからは、平成30年度の取組について、各図書館でページを作成しました。

＊数値について

- 人口は堺市推計人口(平成31年4月1日現在)
- 人口以外は「令和元年度 図書館概要」より
- 「協力貸出点数(借受)」には提供不可の点数を含む(各区とも共通)

Webでの貸出等

定量的指標	H29	H30	前年比
貸出期限延長点数	344,244	361,783 点	105%
市民千人あたり	414	436 点	105%
予約点数	791,368	829,923 点	105%
市民千人あたり	951	1,001 点	105%
電子書籍貸出者数	4,557	4,956 人	109%
市民千人あたり	5.5	6.0 人	109%
電子書籍貸出点数	9,312	9,297 点	100%
市民千人あたり	11.2	11.2 点	100%
電子書籍予約点数	1,222	1,526 点	125%
市民千人あたり	1.5	1.8 点	125%

堺市人口 829,088 人
(平成31年4月1日現在)

堺区 中央図書館・堺市駅前分館

定量的指標	H29	H30	前年比
貸出点数（個人）	819,979	819,257 点	100%
区民千人あたり	5,551	5,540 点	100%
予約点数	57,353	59,158 点	103%
区民千人あたり	388	400 件	103%
レファレンス受付件数	26,296	24,677 件	94%
区民千人あたり	178.0	166.9 件	94%
協力貸出点数（借受）	1,426	1,332 点	93%
大阪府外公共図書館・大学図書館からの借受	37	41 点	111%

区人口 147,868 人
(平成31年4月1日現在)

平成30年度の目標

①全館事業の窓口として、以下に取り組みます。

- ・ふるさと納税
前年度購入した資料を活用した絵本パック貸出事業について、利用しやすい制度の構築と効果的な広報で、15団体の応募を目標とします。
- ・郷土資料展
所蔵する貴重な資料を活用し、関連する部署、民間団体と連携しつつ、魅力的な資料展を開催、記念講演会は参加人数60人を目標として実施します。幅広い年齢層に訴求する関連イベントを開催します。
- ・堺っ子読書フォーラム
堺区を会場として実施する。効果的な広報および効率的な運用を行い、参加人数80人を目標とします。

②堺区の図書館として、以下を実施し、目標達成をめざします。

- ・子ども司書
養成講座実施後の地域の読書リーダーとしての活動について、新たな取組を行います。
- ・ビブリオバトル
本離れが進む若い世代の参加を促すため、定期的に実施します。また、新たな参加者の開拓のため、新事業であるパトラー講座を開催、ビブリオバトルと合わせて年間120人の参加を目標とします。

平成30年度の取組について

①全館事業について以下のとおり取組を行いました。

- ・ふるさと納税
市内各地域で活動している子育てグループ等の子育ての場へ、年齢別の絵本パックを一定期間貸出する事業を実施しました。前期は19団体から応募があり8団体が利用、後期は24団体から応募があり、18団体が利用されました。



- ・郷土資料展「堺の鉄道130年」

11月3日（土・祝）～25日（日）までの期間で郷土資料展を開催しました。関連イベントの記念講演会「パンフレットに見る阪和電気鉄道のあゆみ」には60人、ワークショップ「時刻表を読んで、自分だけの旅行計画を作ろう！」では小学生から年配の方まで、20人の参加がありました。参加者アンケートでは「とてもよかった」「よかった」が75%以上で、非常に好評でした。



・堺っ子読書フォーラム「子ども・本・おとな」

11月23日（金・祝）に実施し、図書館からの事例発表のほか、基調講演には絵本研究家・翻訳家・絵本学研究所主宰の正置友子氏をお招きし、「子どもの想像力・思考力・物語力を育む」と題してご講演いただきました。56名の参加があり、堺市が取り組む子ども読書活動について発表と報告を行いました。

②堺区の図書館として以下の事業を実施し、目標達成をめざしました。

・子ども司書『『さかい子ども司書』にチャレンジ！』

養成講座については、オンラインデータベースの説明を追加するなど、デジタル時代の司書にふさわしい内容としました。初めての試みとして、今回と過去に「さかい子ども司書」として認定された方が、「堺区ふれあいまつり」の会場において、ストーリーテリングやおすすすめ本の紹介に挑戦しました。



・ビブリオバトル

年間を通じ4回開催、77人の参加がありました。今年度は新たな取組として、少人数のグループに分かれてビブリオバトルの体験をする「バトラーへの道！－知的書評合戦ビブリオバトル入門&体験講座－」を開催。24人が初めてバトラー体験を行いました。参加者も46人と、気軽に参加できるイベントとして好評、ビブリオバトルを合わせて125人の参加があり、目標値を超える事業となりました。

図書館協議会委員の意見

- 区民一人当たりの 予約件数が増加したことは評価できる。同貸出点数が全国平均と同レベルであることは評価できる。
- 90万都市の中央図書館としては、サービス全般が低調であり、全市の地区館、分館へのバックアップが弱いように思える。
- 全体を統括する館なので、堺市図書館全体の評価と重なる部分がある。
- 建物が老朽化しており、それが館としての魅力にも反映しているが、実際に利用者として利用している実感としては、まあまあ
- ふるさと納税の絵本パックが、子育ての場で活用されているのがいいと思った。
- ふるさと納税で15団体の応募目標に対して、前期・後期とも目標値を超える応募があったこと、郷土資料展についてもワークショップを盛り込むことで多数の参加者があったなど、市民の興味に応える試みが良かったと思います。
- 郷土資料展、記念講演会等が民間団体と共同で行われ、好評とのことよかった。
- 郷土資料展の関連イベント記念講演会について、「とてもよかった」「よかった」が75%とのことであるが、残りの25%の感想はどうだったのか。また、ビブリオバトルでは、参加目標人数を設定するなど図書館員の意欲がうかがえる。
- 堺っ子フォーラムだが、もう少し子どもに対して読書活動の発表があればよかった。
- 子ども司書の活動は、なかなかいいので、定着した活発な活動になりますように。
- ビブリオバトルなどの取り組み、また、郷土資料の収集とその活用については高く評価します。
- ビブリオバトルでの体験をグループでする試みは、参加者が多くよかった。欲を言えば、年4回しているビブリオバトルは、集会室でしているようだが、以前していたロビーでした方が、初めての人も参加しやすいと思う。
- 中央図書館には、古文書・古典籍を含む貴重な地域資料はもとより全国的にも貴重な資料が豊富に蔵される。それらを展示・広報を通して広く知ってもらい、堺の図書館が誇るべきものだとの認識を市民に高めてほしい。

中区 中図書館・東百舌鳥分館

定量的指標	H29	H30	前年比
貸出点数（個人）	450,814	447,434 点	99%
区民千人あたり	3,651	3,644 点	100%
予約点数	22,956	24,158 点	105%
区民千人あたり	186	197 点	106%
レファレンス受付件数	6,472	6,077 件	94%
区民千人あたり	52.4	49.5 件	94%
協力貸出点数（借受）	482	604 点	125%
大阪府外公図書館・大学図書館からの借受	23	27 点	117%

区人口 122,795 人
（平成31年4月1日現在）

平成30年度の目標

①主な定量的指標を向上させるため以下を実施します。

- ・複合施設『ソフィア堺』にある図書館としての強みを生かしたイベントを企画・実施します。
- ・中区役所の各課・管内の福祉施設、医療機関等との連携、情報交換等により利用者のニーズを把握し、必要なサービスの提供を行います。

②書架の整理整頓、カウンターでの対応改善等を図り、利用者サービスの向上を図ります。

平成30年度の取組について

① 主な定量的指標を向上させるための取組について

・従前から教育センターでの教職員研修に合わせ、本館の「教育情報コーナー」を紹介し、教育関係者への図書利用を呼びかけています。さらに今年度においては、『ソフィア堺』内にあるプラネタリウムとの連携企画として7月に「火星大接近」をテーマに、また1月には映像クリエイターKAGAYA氏のプラネタリウム来館に合わせ、氏の作品集など展示するブックフェアを開催し、相互の利用者拡大に貢献しました。

・課題解決支援講座「もしかして認知症？～正しく知るために」を2月17日に開催しました。市民の関心も高く、講座は定員を超える申し込みがありました（42人/40人）。区内認知症疾患医療センターの認定看護師による講演のほか、相談窓口となる包括支援センターの紹介やパネル展示、関係書籍の展示、講座後には個別相談の時間を設けるなど充実した内容で参加者からも好評を得ました。また、当講座の開催に合わせ、図書館利用促進のPRチラシを区役所内の関係部署などに配布しました。

・中区の図書館ボランティア4団体と協働で2月23日に「なかとしょかにいこう！」を開催しました。当日は多くの親子連れで賑わいました（のべ参加人数288人）。



▲熱心に聞き入る参加者の様子



▲ボランティアによる実演

②利用者サービス向上のための取組について

・返却本の迅速な書架への配架、整理整頓を常に心がけました。とりわけ高齢者から本が取り出しにくいとの声を受け、時代小説などはゆとりを持った配架を心掛けています。

・図書館サポーター倶楽部の協力による階段壁面の季節ごとの飾りつけは、来館者の目を楽しませています。

図書館協議会委員の意見

- 定量的指標が低い地域であり、同指標の向上を目指したことは評価できるが、取組の効果は残念ながら未だ現れていない。調査分析が必要である。
- 図書館利用のPRチラシを区役所内の関連部署等への配布など、利用者を意識した取組や外への働きかけは良い。
- 複合施設『ソフィア堺』にある図書館として、「教育情報コーナー」の紹介、プラネタリウムの施設と協力して、これからもブックフェアをし、お知らせすると図書館と人を結びつけるという意味でいいと思った。
- 『ソフィア堺』内にあるプラネタリウムとの連携企画は他区にはできない独自の企画なので今後も有効に活用していただきたい。
- 「認知症」の講座は、高齢者社会に向けて、市民の興味も大きい。
- ソフィア堺にある図書館としての強みを生かした取組も良い。
- 複合施設という強みを生かして教育センター、医療センター等との連携事業が有効に機能しているように感じられる。今後一層市民ニーズを把握するとともに、図書館側から積極的啓発的な企画も検討していただきたい。
- 複合施設にある図書館としての強みを生かした企画実施を評価する。普段、特定の利用者しか閲覧しない技術・工学関係の資料を多く収集しているので、その強みをもったサービスの展開もあることを期待したい。
- 利用者サービスの向上をうたって取り組んでおられますが、利用者にとって何が一番先にしてほしいのかを考え、サービスについてもう一度精査していただければと存じます。（中図書館以外でも、職員どうしお互いに「遠慮」なされて、結果的に利用者を不快にさせているケースをよく見受けれます。）
- 色々な部署と連携しての本の紹介もいいアイデアだと思う。ただ、書架の本を取り出しやすい配架は、基本だと思うので、どこの図書館でも、心掛けてほしい。
- 返却本の迅速な配架を心掛けるなど、利用者を意識した取り組みは良い。
- 利用者サービス向上のための取組として、高齢者に優しい「ゆとりをもった配架」を実施していることを評価します。

東区 東図書館・初芝分館

定量的指標	H29	H30	前年比
貸出点数（個人）	474,303	453,572 点	96%
区民千人あたり	5,590	5,361 点	96%
予約点数	37,082	38,540 点	104%
区民千人あたり	437	456 点	104%
レファレンス受付件数	9,546	12,472 件	131%
区民千人あたり	112.5	147.4 件	131%
協力貸出点数（借受）	751	698 点	93%
大阪府外公共図書館・大学図書館からの借受	21	32 点	152%

区人口 84,598 人
（平成31年4月1日現在）

平成30年度の目標

東区の地域の特性に配慮しながら、以下の重点事業に取り組みます。

- ・ビジネス書コーナーの活性化と利用サービス向上のため、昨年度より試行しているビジネス書に特化したブックフェアを定例化します。
- ・利用者の利便性向上のため、駅前ロータリーに返却ポストを設置し、利用の促進に努めます。
- ・各種ちらし・ポスター等を適切な場所に配架・掲示し、必要な情報が必要な来館者に届くようにします。

平成30年度の取組について

①ビジネス書コーナーの活性化

・ビジネス書コーナーの棚2段分を使ったミニブックフェアを「ストレスに打ち勝つメンタルヘルスの本」「経営学の巨匠 ドラッカー」「ブック企業」「上司と部下」のテーマで実施し、およそ2か月に1回の頻度で展示替えをおこないました。ニーズの多いテーマを選定し、31年度も継続します。



②返却ポストの設置・利用促進

・駅前ロータリーに返却ポストを設置し、ポスターの掲示・ちらしの配布のほか広報さかいへの掲載など周知を図りました。当初は従来の図書館前ポストに比べて利用が少ないものでしたが、半年を経て利用が向上し、ほぼ同じくらいの比率で利用されています。利用者にも「便利になった」という声をいただいております。全体的に返却ポストに返却された冊数そのものが増加しています。



③各種ちらし・ポスターの適切な配架

ちらしやパンフレット等を内容や対象、実施主体で分け、それぞれ適切な場所にまとめて配架しています。来館後パンフレット架に立ち寄る人が増えたほか、図書館主催の事業ちらしなどはすべて持ち帰られるケースもあります。また、地域資料の新刊棚の隣に地域の歴史・文化に関する催しやお知らせのちらし等を配架したところ、足を止める利用者や持ち帰られる部数が増加しました。相乗効果として地域資料の新刊も貸出に出るようになりました。



図書館協議会委員の意見

- 区民一人当たりの貸出点数が全国平均と同レベルであることは評価できるが、若干減少傾向であることが気がかりである。
- 予約件数、レファレンス件数の増加は評価できる。特にレファレンス件数が3,000件近く増加していることは注目したい。
- 地域の課題解決には、レファレンスサービスは重要である。昨年度のレファレンス件数と比較すると、今年度は約3,000件増である。利用者にとって必要な情報を提供している点を評価する。
- ビジネス書コーナーの活性化をご検討いただいておりますが、立ち寄ってそこで調べ物をしたくなるような館内の雰囲気でないのが残念です。
- ビジネス書コーナーの活性化の色々な工夫はなかなかいいと思った。しかし、このコーナーが、ビジネス支援を堺市の中で特化して行っていることは、市民には、あまり知られていないので、ここでのブックフェアの情報をもっと共有して、この図書館にすぐには行けなくても、利用してみたい、情報をすぐ手に入れたい市民にもっと知らせることが大事だと思う。
- ビジネス書コーナーを設けていることを活かした企画を工夫・実施し、成人男性利用者を惹きつける工夫を期待したい。「役に立つ・お役に立てる」ことを積極的にPRしてほしい。
- ビジネス書コーナーの活性化を図る目的で2カ月に1回の展示替えを実施された結果報告が記されていないのが残念です。
- 北野田駅前ロータリーに設置された返却ポストの利用者が増加しているということは図書館での貸出件数も今後期待できるのではと期待します。
- 各種チラシやポスター等の効果を考えての適切な掲示の工夫は良い。
- チラシ・ポスターの分類配置はとても効果的。それによって自分の関心ある事柄への参加や、新たな関心をひきおこされ、図書利用のきっかけともなる。

西区 西図書館

定量的指標	H29	H30	前年比
貸出点数（個人）	407,807	396,017 点	97%
区民千人あたり	2,998	2,923 点	97%
予約点数	24,966	23,650 点	95%
区民千人あたり	184	175 点	95%
レファレンス受付件数	3,489	4,360 件	125%
区民千人あたり	25.7	32.2 件	125%
協力貸出点数（借受）	536	487 点	91%
大阪府外公共図書館・大学図書館からの借受	12	1 点	8%

区人口 135,489 人
（平成31年4月1日現在）

平成30年度の目標

市民ニーズに対応した資料・情報の効果的な提供、学校・地域支援に取り組みます。

- ・医療・保健・福祉関係機関と連携し、信頼できる資料・情報提供を行うとともに健康な暮らしに資する講座や相談事業を実施します。
- ・地域の読書拠点を支援するため団体貸出、出前講座を実施します。

平成30年度の取組について

①市民ニーズに対応した資料・情報の効果的な提供を行うための取り組み

- ・がんや認知症の医療専門家、当事者と意見交換し、資料の収集に反映しています。5大がんリーフレットは改訂を行い、関係機関のほか、区民まつりや「障害者週間フェスティバル」などで発信しました。
- ・「セカンドステージ応援コーナー」を拡充し、介護、健康寿命に関する資料など高齢者の暮らしに役立つ資料や認知症の方にも手にとってもらえる資料、関連パンフレットを常設展示しています。
- ・西保健センター、堺市立総合医療センターと共催し、がん講座及びがん相談を実施、延べ70人参加しました。がん検診と同時開催することで、普段図書館に来館しない市民に医療情報の案内や情報提供ができました。
- ・関係機関との取組について認知症疾患医療センター・浅香山病院で行われた研修「認知症にやさしい図書館」や広島市で開催した国立がん研究センター主催のワークショップにも協力し人材育成を行いました。



5大がんリーフレット



がん講座



がん相談コーナー



セカンドステージ
応援コーナー

②地域における読書拠点の支援

- ・旧浜寺公園駅舎のライブラリーの設置に向け支援を行い、今年度は西図書館月替わりコーナーに約1,000冊、団体貸出を行いました。
- ・子育て支援関係者会議で図書館サービスを広報し、子育てフォーラムや支援者に対する研修の場で情報提供しました。校区子育てサロンやこども園での絵本の大切さについての育児講座開催につながりました。



浜寺駅舎ライブラリー



育児講座

図書館協議会委員の意見

- 定量的指標が最も低い地域であり、特に貸出点数、予約点数ともに減少していることは、心配な点である。原因を徒に旧来からの原因に求めるのではなく、利用増加への取組を多様な視点で展開すべきである。
- 他館と比較すると、区民千人あたりの貸出点数やレファレンス受付件数が低い。取組では、市民ニーズに対応した資料・情報提供や地域における読書拠点となるようなサービスを実施しているので、今後の貸出等につながることを期待する。
- 健康・医療情報の収集・提供は関連機関との連携も含めて、定着している。
- この館は、医療センターなどと連携してがんを中心に介護・健康について持続的な講座相談、情報提供を行ってこられたこと、また前年度の多文化交流の試みなど、新しい企画も目をひきます。
- 救急医療センターがある西区の特徴を生かし、医療・保健・福祉関係機関と連携した取組を行っていることが評価できる。市民が関心を持っている「市民ニーズ」をしっかり把握して今後も取り組んでいただきたい。
- 医療、保健、福祉関係の資料など情報の多い図書館としての働きは、とてもいいと思う。西図書館にそういった資料が多くあるということを広く堺市民に広報して、うまく活用できるといいと思う。また、西保健センター、総合医療センターが近くにあるということで、連携して普段図書館に来ない市民にも情報が届くようにしたのは、図書館と人を結ぶ活動としていいと思った。
- 地域における読書拠点への支援も評価できる。
- 浜寺地区への働きかけ(旧浜寺公園駅舎ライブラリー)としての団体貸出や、子育て支援に対しての働きかけもいい。
- 子育て支援会議で図書館サービスを広報したことや、育児講座開催につながったことは良い。

南区 南図書館・樺分館・美木多分館

定量的指標	H29	H30	前年比
貸出点数（個人）	831,931	828,850 点	100%
区民千人あたり	5,835	5,887 点	101%
予約点数	69,857	69,885 点	100%
区民千人あたり	490	496 点	101%
レファレンス受付件数	19,695	15,376 件	78%
区民千人あたり	138.1	109.2 件	79%
協力貸出点数（借受）	1,708	1,933 点	113%
大阪府外公共図書館・大学図書館からの借受	31	40 点	129%

区人口 140,802 人
（平成31年4月1日現在）

平成30年度の目標

南区の重点分野に取り組むため、以下の目標を設定します。

- ・昨年度から施行している「堺市手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」に基づく取組として、手話コーナーを設置し、利用の促進を図ります。
- ・手話についての理解を深めるため、課題解決支援講座で「やさしい手話講座」を実施します。参加目標人数を15人とします。

平成30年度の取組について

①手話コーナーの新設



- ・本の表紙を展示することで、利用者が手に取りやすくなりました。手話の本のリストも作成しました。
- ・課題解決支援講座では「やさしい手話講座」を実施し、参加者は手話で自分の名前やあいさつを表現できるようになりました。わかりやすい講座だったと、アンケートでの感想も高評価でした。



②南図書館おたのしみフェア

- ・樺分館・美木多分館と同時期の開催で、集会室利用の朗読グループの発表会など、様々な年代の方に楽しんでもらえるイベントを実施しました。読み聞かせボランティアと子ども司書による「えほんのひろば」も好評でした。
- ・子ども司書の作成したPOPは、南図書館だけでなく、南区役所、泉北高倉小学校、茶山台小学校でも展示しました。



図書館協議会委員の意見

- 区民一人当たりの貸出点数が全国平均と同レベルであることは評価できる。
- 設立時からずっと地域にお住まいの市民の方から愛され親しまれている特性を、今後も生かされますように願うところです。
- 南区の特色として、高齢化や外国人が多いことがあると思うが、そのことに対する取組、あるいはビッグ・アイとの連携事業も考えてはどうか。
- 「手話コーナー」の設置と共に、本の表紙の展示、講座を開くなどをして、手話への興味から理解へと広がっていく手助けを図書館がすることの意義は大きい。
- 手話コーナーと講座、持続されるよう期待します。
- 「やさしい手話講座」への参加目標15人に対して、実際は何人だったのでしょうか？ 写真を見る限り目標人数を上回っているように思いますが。(参加人数は目標通り15人でした)
- 手話コーナーの新設や講座実施について、障害者サービスにも力を入れている点进行评估している。今後、手話等のボランティアの育成にもつながることを期待する。なお、アンケートではわかりやすかったなどの高評価とあるが、講座の参加目標人数を掲げている以上は、取り組みのところで目標人数を達成できたのかも記述していただきたい。
- お楽しみフェアとして、この地区で活動しているグループ、ボランティアとの共同でのイベント、子ども司書の活躍とPOPの展示は、やりがいもありいい。
- ボランティアグループによるおはなし会等の取組は継続して定着しており、定評がある。
- 子ども司書が作成したPOPが今後もいろんな場所に広がっていくことを期待しています。

北区 北図書館

定量的指標	H29	H30	前年比
貸出点数（個人）	585,691	586,044 点	100%
区民千人あたり	3,688	3,678 点	100%
予約点数	44,414	44,229 点	100%
区民千人あたり	280	278 点	99%
レファレンス受付件数	6,822	4,365 件	64%
区民千人あたり	43.0	27.4 件	64%
協力貸出点数（借受）	770	1,029 点	134%
大阪府外公共図書館・大学図書館からの借受	17	27 点	159%

区人口 159,344 人
（平成31年4月1日現在）

平成30年度の目標

北区の特色および歴史文化を生かした図書館事業につき重点で取組み、以下の目標を達成します。

- ・北区の地域の課題解決の一助のため、区役所と連携したブックフェア等の取組みを推進します。
- ・北区独自の歴史文化をテーマとした「堺歴史文化市民講座」を実施します。参加目標人数を45名とします。

平成30年度の取組について

①北区子育てフェスタ

- ・北区の特色である子どもと子育て層の人口増加を、積極的に図書館利用につなげるため、北区役所がイオンモール堺北花田で開催する同フェスタにおいて、ボランティアの協力により、「えほんのひろば」と読み聞かせ会を実施。昨年度に引き続き、施設内の「紀伊國屋書店」と共同で絵本ブックリストを作成・配布、新規オープンした「無印良品」ともコラボし、同店での読み聞かせ会を行いました。

②区役所と連携したブックフェアの取組

- ・6月に北保健センターの食育月間および歯と口の健康週間関連事業と連動し「食育することから健康に～食育について知ろう～」をテーマに、7月には北基幹型包括支援センター主催の認知症ウィーク（7月24日～27日）の事業と連動して「認知症について知っておきたいこと」をテーマに、11月には「子どもが健やかに育つために～ほめる育児をしよう」をテーマに北保健センターと連携してブックフェアを開催しました。いずれも連携先の事業や啓発のパンフレットやポスターも展示し、図書館資料もよく利用されました。連携先の担当者からも、連携により市民の事業への理解が進んだとの評価をいただきました。



③講座「金岡神社と地域の歴史」の開催

- ・北区独自の歴史文化をテーマとした「堺歴史文化市民講座」を12月に開催し、金岡神社宮司の金岡光世氏を講師に、金岡神社の盆踊りや金岡の地名の由来、明治・大正のころの金岡村の様子などについて語っていただきました。また、金岡町に古くから在住の吉田久氏にもゲスト参加していただき、昭和10～20年代の地域の様子についてお話いただくなど趣向を凝らし、参加者から「金岡の地に愛着のわく良い内容でした」など好評を得ました。47名参加。



図書館協議会委員の意見

- 定量的指標が低い地域であり、同指標の向上を図るべきである。レファレンス件数の落込みが一過性のものであるか否か継続的に見守る必要がある
- 堺で最も貸出の多い館で、職員の労働環境も厳しい中で、商業施設や区役所との連携に取り組んでいるのは良い。
- 今後の図書館サービスには、図書館が地元の企業や大学、近隣の公共施設と連携して、利用者に様々な学びの機会を提供することが求められる。北区では、図書館と地元企業とのコラボレーションに力を入れており、今後の図書館がもつ機能や可能性を北区から発信して欲しいと考える。また、「堺歴史文化市民講座」では、参加目標人数を設定するなど、図書館員の意欲がうかがえる。
- イオンモールに出かけての書店やオープン店との共同活動、積極的な市民の図書利用促進につながればと期待します。区役所と連携しての食・認知症・子育てをテーマにブックフェア・啓発、いずれも図書館から出かけての積極性が目立ちます。
- 昨年に引き続き、大型商業施設「イオンモール堺北花田」での親子対象にした企画が図書館利用増加につながることを期待します。
- 区役所との連携(北保健所、包括支援センター)で行われた「食育」「育児」「認知症」など、ブックフェアやパンフレット等を活用して本と結びつけ、市民への周知と理解もより進んだと思う。
- 金岡地域の歴史は、興味を持って活動している市民も多い。他の地域も含めて、この活動は継続してできたらいいと思う。
- 地域の歴史講座を継続的におこなっており、地元の人を講師に招き、語ってもらう工夫は良い。
- 地域独自の歴史講座を継続的に開催するという企画は他区でも実施していただきたい企画です。
- 報告にはなかったが、「ティーンズコーナー」が充実してきて、ホッとする場になってきているのがうれしい。

美原区 美原図書館

定量的指標	H29	H30	前年比
貸出点数（個人）	351,935	338,148 点	96%
区民千人あたり	9,165	8,854 点	97%
予約点数	17,414	17,061 点	98%
区民千人あたり	453	447 点	99%
レファレンス受付件数	11,407	8,924 件	78%
区民千人あたり	297.1	233.7 件	79%
協力貸出点数（借受）	403	352 点	87%
大阪府外公共図書館・大学図書館からの借受	1	3 点	300%

区人口 38,192 人
（平成31年4月1日現在）

平成30年度の目標

地域の特性や利用者の属性などに十分配慮し、地域に密着した図書館運営を行うため、以下の目標に取り組めます。

- ・発達段階に応じた読書活動の取組みを推進するため、中高生を対象とした POP 募集など読書習慣形成のための事業を継続して実施します。
- ・快適な施設をめざして、親しみやすく、わかりやすい書架レイアウトやサイン表示に取り組めます。
- ・市民調査や来館者調査等で示された利用者ニーズに応える資料収集に取り組めます。

平成30年度の取組について

①「POP ふえすていばる」の開催

・POPは82点の応募があり、館内に掲示してベストPOPを募ったところ215枚の投票がありました。投票の結果及び多くの投票を集めたPOPは、図書館ホームページに掲載しました。展示期間中は中高生や、教諭の姿も見られ、来館機会の創出につながりました。



「POP ふえすていばる」展示

②親しみやすく、快適な読書環境づくり

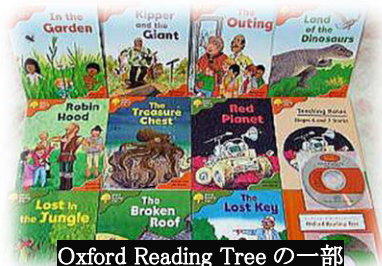
・中高生が気軽に足を運べるようティーンズエリア内に、親しみやすいイラストや看板を新たに設置し、若年層が居心地よく思える雰囲気を作りました。あわせて教科にあわせた書架見出しを設置し、本の表紙を展示することで、よりわかりやすくなる工夫を行いました。また、館内に、発達障害等を持つ方の行動についての理解を求める啓発ポスターを掲示し、安心して利用できる環境づくりに取り組みました。



ティーンズエリア書架見出し

③利用者ニーズに応える資料収集

・地域資料コーナーでは、これまで書庫にあった『堺市史』をすぐに手に取れるよう開架しました。あわせて松原、富田林、河内長野各市の市史及びみはら歴史博物館の図録等も新たに収集しました。また、基本構想基礎調査回答や2020年度から小学校で英語が教科化されることをふまえ、これまで本市で未所蔵であった子ども向け英語テキスト「Oxford Reading Tree」を購入しました。



Oxford Reading Tree の一部

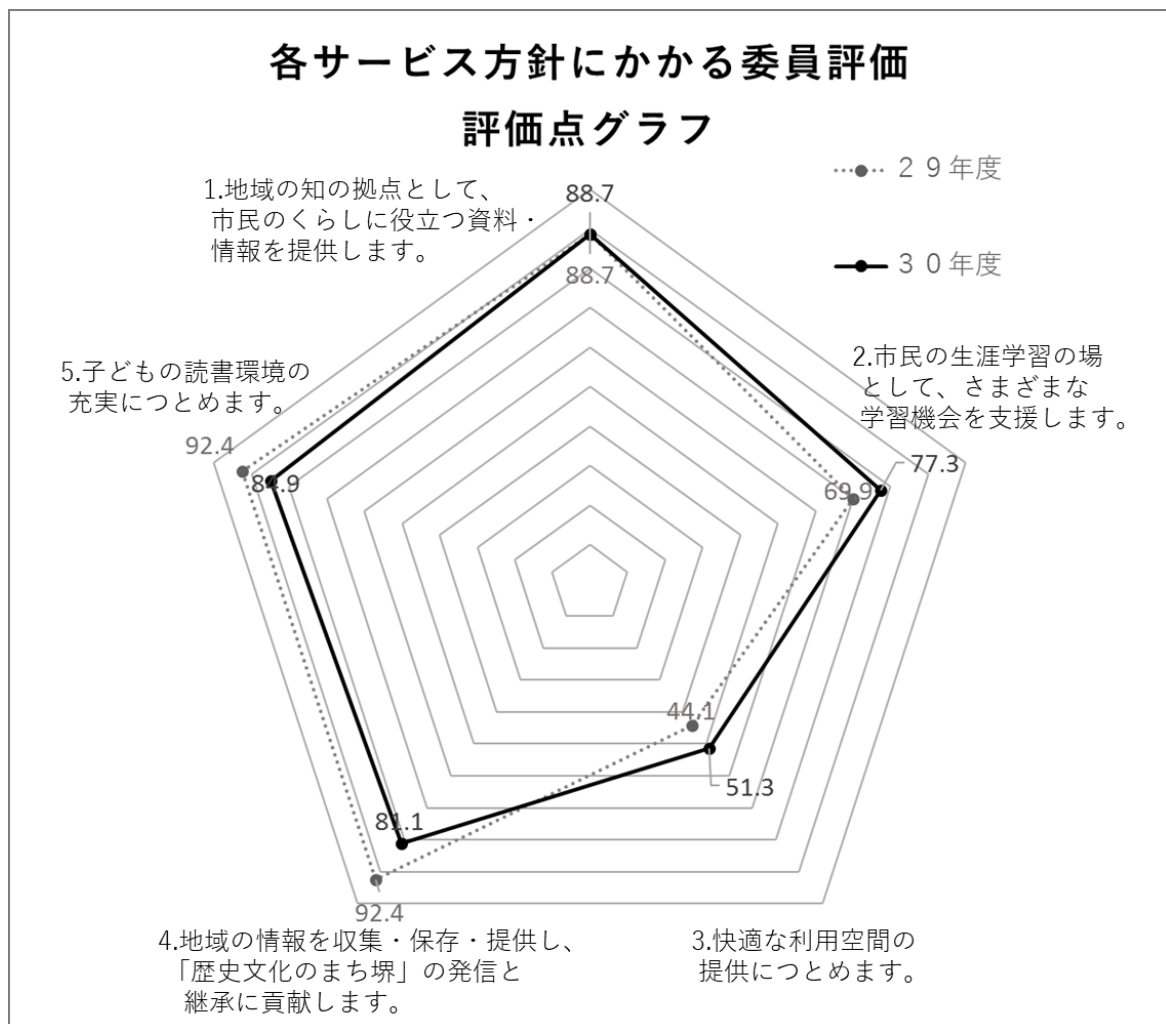
図書館協議会委員の意見

- 全国的にみてもトップレベルの利用率を記録しているが、貸出点数、予約点数、レファレンス件数全てが減少している。原因の分析が必要である。
- 親しみやすく快適な環境について、常ひごろよく配慮されていると思います。さまざまなニーズに合わせ、利用しやすい図書館であると高く評価します。
- 以前から、地域に密着した図書館運営がなされている。その姿勢をこれからも追及してほしい。
- 「POPふえすていばる」の応募と投票が多かったこと、ティーンズエリアの進化と充実で、さらに若い人がこの場に寄ってくれるといい。HPや図書館に置いてある資料も充実している。館内での発達障害等の展示で図書館の環境づくりの姿勢もいいと思う。
- 「POPふえすていばる」等の利用者参加型の企画は良い。
- 手に取れる色々な資料が増えて、利用者も興味を持って借りることができる。
- 中高生が足を運びたくなる工夫を心掛けているのは良い。
- 「POPフェスティバル」やティーンズエリア内での工夫など、中高生を中心とした若年層が集まりやすい空間づくりについて高く評価します。英語が来年から小学校で教科化されることに合わせて、英語テキストを配架された取組についても評価します。
- 市民調査や来館者調査等の結果に対して、迅速に利用者ニーズに応える資料収集・提供をしている点を高く評価する。読書環境づくりや資料提供後の利用者の満足度はどうだったのか知りたい。
- とくに中高生を対象とした企画や読書環境づくり、是非持続して下さい。どのような効果があらわれるか楽しみです。

Ⅲ 平成30年度の総評

- 政令指定都市におけるサービス指標では、トップレベルであるが、全国の市町村との比較では平均値を維持しているに過ぎず、市民に対して必ずしも高いサービスを提供しているとはいえない。特に地域間のサービス実績の格差が少なくないことは課題である。格差是正を目指す取組は評価できるが、いまだ効果は充分ではなく取組の進捗を見守る必要がある。
- 施設の老朽化、陳腐化も大きな課題である。市民の多くが質の高い公共空間を利用することにより、市民の建築空間に対する評価基準が高くなっていることを考えれば、図書館施設の老朽化に対する潜在的な不満が利用を妨げていることは予想できる。
- 各区図書館での取組はどの図書館も工夫を凝らし努力がうかがえる。しかし、その取組を実行した結果、貸出点数の増加につながっているのかどうかという統計があってもいいのではないかなと思う。又、取組をきっかけにその後の来館者が増加しているかどうかの検証を試みるのがあってもいいと思う。
- 政令市との比較では市民一人当りの利用指数が平均を維持しており、現状の施設・資料数・職員数としては相当な努力がなされていると思われる。とくに子ども読書活動については各館ともに力が注がれており子ども司書やPOPづくりなど子どもたち自身の参加による新たな活動形態が定着しつつある。しかし一方、中央図書館の老朽化・狭隘さ・立地等は利用の促進・拡大を停滞させる要因となっていると思われ、現状改善も限度に達しており、中央館としての空間と規模・施設を擁する早急な新館計画が必要である。
- 地域館は堺市図書館として共通性をもちながら、差異が生じることはやむをえないことであり、むしろその差異がどうして生じるのかを地域の実情を分析して、それに見合った企画の工夫をすることで独自性が発揮されるのではないかな。そしてその企画の継続性と実効性の検証が必要である。
- 青壮年層による課題解決型学習の場としての機能はまだ弱体なのではないかな。それら非利用者への働きかけ、情報発信を行う多様な媒体の活用と課題解決型利用の具体的な実践および具体例の紹介。「課題解決」ということを具体的にイメージするために。
- 堺市立図書館サービス評価の全体の構成は納得いくものができたと思う。特に地域館の評価を取り入れている点はわかりやすい。また各館がどのようなサービスに力を入れているのかが明らかになって良い。しかしながら、全体的に見出し番号の後の文言と具体的な取り組み(指標)がミスマッチしているので、その点を検討されたい。
- 3「快適な利用空間の提供」であるが、具体的な取り組み(指標)項目が少ない。内容的に目標値が定められないものもたくさんあると思うので、その点については注釈をつけ項目だけでも挙げてみてはどうか。
- おおむね好意的な、妥当な評価を協議会で得ていると思われます。これらの意見を参考に、また他の先進的な取組事例についても、堺市でとり入れることができるかどうかの検討、あるいは、利用者の立場からの積極的な改善を引き続きよろしくお願いします。
- 国立国会図書館館長からお礼状が届いた。レファレンスサービスの評価、来館者アンケート調査の実施を評価したい。
- 歴史・文化の情報発信に力を入れているのが良い。
- 評価の結果については納得のいくもの。
- 評価は次のサービスの展開に繋げるためのもの。課題を見つけて、どう解決していくかが大事。評価を見てどこを改善していくかというのを明らかにする方がいい。
- 課題としてはやはり快適な空間という点がある。
- 堺は郷土資料に力を入れているが、課題の一つは発信。郷土資料をどう発信して市民に見ていただくかを考えるべき。
- 各区ごとに目標を立てて取り組んでいるのは結構なことですが、目標の継続性や連続性が気になります。毎年ころっと変わるのはいかがなものかなと思います。目標の達成度を明らかにし、課題を洗い出し、継続あるいはさらなる展開につなげていくべきではないでしょうか。

- 全体評価としては努力していただき、それぞれの区において工夫されてやっておられるということを聞かせていただいた。一人でも多くの人に活用していただきたい。
- 中央図書館は50年経っている。利便性、年数、耐久性等を考えて、行政に働きかけていく時期が来ているのではないかと。ここで続けるのか、また利便性のいいところ、ビルの中で高層マンションのあるところに作るのか。大阪市の子供図書館についても報道がかなり出ている。堺市としても考えていかないとけないのではないかと。
- 意見にあったように、評価に対して、次のサービスの展開として、どう解決していくかが大事で、その上での評価とした方がいいと思った。
- 今の中央図書館としては、快適な居場所、沢山の資料、色々な集会に対応できるスペース、バリアフリー等を考えると、早く新しい図書館を考えていかねばと思う。
- 堺の郷土資料、ますます注目されるのでは、と思うので、博物館と共に大切な資料の発信も大切で、それをしているというアピールも大事だと思う。
- 図書館のサービスとしては、実際使っていて、担当の職員はしっかりとこちらの意向を受け止めて対応し、資料を出してくれる。やはり経験と利用者と一緒に接して利用者の方に常に向いていることが大きいと思う。非正規の方でも勉強をされ、少し長くいる方は、的確な対応してくれる人も中にはいるが、ある期間が来ると続けられないし、図書館を変わらねばならない。図書館は継続しての経験が大事なので、市の働き方と同じにしてほしいし、ある程度身分も認めて考えた方がいいと思う。
- 先日ふるさと納税での子どもの絵本パックと図書館員の派遣、という記事が朝日新聞に載っていたが、図書館のアピールとしていいことだと思った。図書館でできること、もっと市民にアピールしていけばいいと思う。



Ⅳ 基本的な図書館活動指標

	28年度	29年度	(前年度比)	30年度	(前年度比)
予算					
図書館費（円）	361,478,000	365,274,000	101.1%	373,229,000	102.2%
資料費（円）	96,929,000	98,030,000	101.1%	99,120,000	101.1%
図書購入費	84,400,000	85,400,000	101.2%	86,400,000	101.2%
新聞・雑誌・追録等資料購入費	12,529,000	12,630,000	100.8%	12,720,000	100.7%
オンラインデータベース使用料（円）	4,251,000	4,251,000	100.0%	4,198,000	98.8%
資料収集					
蔵書数（点）	1,889,247	1,891,973	100.1%	1,894,075	100.1%
受入点数（点）	59,001	55,239	93.6%	55,338	100.2%
雑誌タイトル数（点）	1,406	1,396	99.3%	1,369	98.1%
オンラインデータベースタイトル数	12	12	100.0%	12	100.0%
利用サービス					
開館日数（中央図書館のみ・日）	306	306	100.0%	308	100.7%
職員数（人）	123	124	100.8%	125	100.8%
来館者数（施設利用者数・人）	2,759,213	2,283,420	82.8%	2,223,697	97.4%
登録者数（人）※1	288,134	301,088	104.5%	313,662	104.2%
個人（新規）	12,758	15,350	120.3%	15,587	101.5%
うち大阪市相互利用	143	122	85.3%	131	107.4%
うち泉北地域4市1町相互利用貸出	278	251	90.3%	232	92.4%
団体（新規）	28	41	146.4%	18	43.9%
貸出点数（点）	4,423,574	4,347,694	98.3%	4,313,266	99.2%
個人貸出点数	4,339,884	4,276,016	98.5%	4,240,402	99.2%
うち協力貸出点数（貸出＋借受）	14,526	13,513	93.0%	14,645	108.4%
うち大阪市相互利用	13,118	16,326	124.5%	17,652	108.1%
うち泉北地域4市1町相互利用貸出	13,327	13,976	104.9%	14,600	104.5%
団体貸出点数	83,690	71,678	85.6%	72,864	101.7%
予約件数（件）	996,432	1,066,632	107.0%	1,108,130	103.9%
複写枚数（枚）	57,790	64,730	112.0%	61,537	95.1%
オンラインDB利用件数（件）※2	7,663	41,108	536.4%	32,424	78.9%
HPトップページアクセス数（件）	2,520,283	2,161,111	85.7%	3,295,729	152.5%
蔵書検索回数（回）	3,300,797	2,814,706	85.3%	3,013,824	107.1%
レファレンス受付件数（件）	108,526	83,727	77.1%	76,278	91.1%
電子書籍閲覧回数（回）	15,672	18,712	119.4%	21,972	117.4%
市民の声の受付件数（件）	41	32	78.0%	32	100.0%
講師派遣人数（人）	25	25	100.0%	30	120.0%
地域資料サービス					
地域資料蔵書数（点）	103,513	105,594	102.0%	107,622	101.9%
地域資料レファレンス受付件数（件）	4,461	5,511	123.5%	5,902	107.1%
デジタルアーカイブ点数（点）	854	919	107.6%	1,037	112.8%
貴重資料の利用点数（点）	399	300	75.2%	283	94.3%
行政資料受入点数（点）	794	1,136	143.1%	845	74.4%

Ⅳ 基本的な図書館活動指標

	28年度	29年度	(前年比)	30年度	(前年比)
児童サービス					
児童書蔵書数（点）	529,617	532,006	100.5%	524,307	98.6%
児童書貸出点数（点）	1,745,748	1,729,174	99.1%	1,713,823	99.1%
児童のみ登録者数（点）※3	35,809	34,502	96.4%	33,327	96.6%
学校園への配送点数（点）	49,710	46,978	94.5%	48,234	102.7%
図書館見学来校数（校）	73	75	102.7%	77	102.7%
図書館見学参加人数（人）	5,826	6,144	105.5%	6,220	101.2%
おはなし会・読み聞かせ会 実施回数（回）	664	680	102.4%	646	95.0%
おはなし会・読み聞かせ会 参加人数（人）	11,046	10,785	97.6%	11,527	106.9%
「子ども読書の日記念事業」等 学校訪問対象生徒・児童数（人）	2,838	2,323	81.9%	1,274	54.8%
学校図書館訪問校数（校）※4	74	55	74.3%	48	87.3%
講師派遣人数（児童書に関わる講座・ 人）	21	23	109.5%	23	100.0%
「絵本から広がる家庭での親子ふれあい 事業」実施回数（回）	142	140	98.6%	236	168.6%
高齢者・障害者サービス					
対面朗読室利用回数（回）	355	262	73.8%	322	122.9%
大活字本蔵書冊数（点）	4,922	4,776	97.0%	4,837	101.3%
一カ月貸出延利用者数（人）	5,494	5,909	107.6%	7,309	123.7%
点字図書館への貸出冊数（点）	149	88	59.1%	142	161.4%

※1 平成28年度は、平成29年1月のシステム更新にともない、5年間利用のない登録データ118,254件の削除を行った。

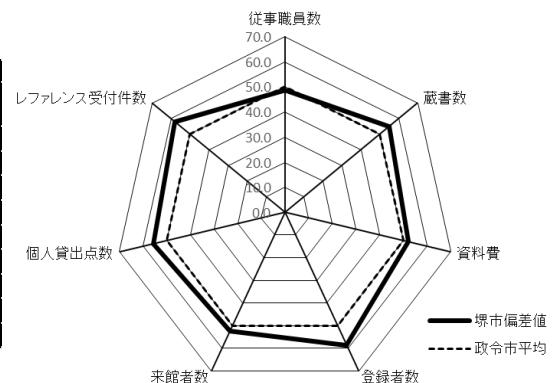
※2 平成28年度は新システム導入後の2017年1月～3月のみ計上。

※3 14歳以下の登録者数。

※4 図書館独自で学校図書館へ訪問を行うほか、学校教育部が行う巡回訪問に同行し、現状や課題の把握に努めた。

（参考）

	堺市	政令市 平均	人口千人当たり		
			堺市	政令市 平均	堺市 偏差値
奉仕人口	829,088	1,381,637			
従事職員数	149	239	0.18	0.19	49
正規職員数	83	83	0.10	0.06	63
蔵書数	1,894,075	2,408,593	2,285	1,977	55
資料費	98,191	136,326	118	108	52
登録者数	313,662	354,528	38	27	58
来館者数	2,223,697	3,278,352	2,682	2,458	52
個人貸出点数	4,240,402	5,848,992	5,115	4,493	56
レファレンス受付件数	76,278	95,708	92	67	58



（※1）専任職員、非常勤、短期臨時職員、委託従事者の合計。非常勤、短期臨時職員、委託従事者は年間1500時間を一人とする

（※2）逐次刊行物を含まない

（※3）資料費については決算ベース

出典：「令和元年度 指定都市立図書館長会議 資料」